

2024年度 第1回 ピットフォール研究専門委員会議事録

日 時：2024年4月22日(月)18:00~19:00

場 所：ZoomによるWeb会議

出席者（敬称略）：中野恵一（北海道大学病院）、阿部雅仁（栄研化学株式会社）、上田一仁（関西医療大学）、川崎健治（千葉大学医学部附属病院）、土筆智晶（北里大学病院）、脇 雅宏（ニッポーメディカル株式会社）、菅野光俊（福島県立医科大学）、小島和茂（日本電子株式会社）、長田誠（群馬パース大学）、中沢隆史（日立ハイテク）、三好雅士（徳島大学病院）、石嶺南生（信州大学医学部附属病院）、細羽恵美子（東京女子医科大学病院）、清宮正徳（国際医療福祉大学）、

欠席者（敬称略）：濱田悦子（文京学院大学）、阿部正樹（東京慈恵会医科大学附属第三病院）、藤田清貴（群馬パース大学）

【報告事項】

1. 委員名簿更新について（三好）

2024年4月 委員名簿を更新、HPへ掲載した。

2. 事例集更新・相談事例一覧の追加について（三好）

2024年4月 事例集の更新、相談事例一覧の追加を行い、HPへ掲載した。

3. IFCC New IFCC Task Force on Laboratory Medicine Practice Guideline について（三好）

2023年11月 委員会より石嶺委員を推薦した。

（石嶺委員）

エントリー受理の連絡あり、それ以外の詳細はまだ決まっていない。各委員の協力をいただきたい。

4. 認定臨床化学・免疫化学精度保証管理者制度 試験委員の推薦について（三好）

2024年4月 委員会より土筆委員を推薦した。

5. APFCB について（中野）

2024年4月10日担当者での打ち合わせの概要を説明いただいた。

（中野副委員長）

当委員会の中野先生・石嶺先生と東京医科歯科大学・大川先生が演者、座長は清宮先生で内定。

内容は反応タイムコース確認の重要性など、日本での取り組みについて予定している。

6. 第64回年次学術集会シンポジウムについて（川崎・菅野）

シンポジウムについて進捗の報告をいただいた。

（小島委員）

今回の装置3メーカーの演者とは一度webミーティングを行い、企画や主旨を共有してはどうか？

⇒委員より異議なし、5月中で企画することで検討（抄録×切：6/10）。

⇒今大会でCa 偽低値をご発表いただく帝京大・野中先生とも直前に内容確認を含めて計画する。

7. 委員会からの挑戦状（ニュースレター）について（三好）
シンポジウムで濱田委員が発表した事例を基に構成する予定。
⇒引き続き、濱田委員にご対応いただく。

8. その他
特になし

【協議事項】

1. 新規委員の追加について（三好）
学会として委員数の上限がなく、新規委員の追加についてルール決め等で討議を行った。
（清宮委員）
自ら手を挙げて意見具申や提案を行っていただけの方がのぞましい。
（阿部雅委員）
現状の生化学・免疫・一般以外の他分野への拡大を図るかによって方針は異なる。
⇒何らかの基準を設ける。三好委員長・中野副委員長にて検討いただく。最終的には委員会全体にて協議すべき事項。
2. 2024 年度近畿支部医学検査学会企画について（上田）
日時：2024 年 11 月 4 日（月・祝）時刻未定 ※90-120 分の枠は内定
担当者、テーマ、座長・演題は未定。
（上田委員）
委員会内で未定の部分を選定いただけると助かる。5/1-8/30 までがエントリー期間。
⇒40-60 分は三好先生の講演予定、残りの講演および座長を三好委員長・上田先生で検討いただく。
3. 相談事例一覧について（中野）
委員会の見解を示せない、あるいは追跡できない事例についての扱いについて討議を行った。
（清宮委員）
事例集の掲載目的を踏まえると、見解を示せた症例のみを掲載すべき。
⇒委員より異議なし。
4. 事例集のファイル形式について（三好）
ソートや抽出がしやすい様、編集不可にした excel でのアップの是非について討議を行った。
⇒現状、特に問題なし。PDF での掲載を継続する。
5. 事例集・相談事例一覧 ネーミングについて（三好）
閲覧者が異なる 2 つの資料を明確に区別できるファイル名について討議を行った。
⇒委員より随時募集、アイデアは三好委員長・中野副委員長にメールで送付する。
6. その他
次回委員会：年次学術集会前に予定。